

## 養成施設の生き残り戦略「教員が運営する NPO 法人にて新しい接点づくり」

伊藤 浩一（いばらき中央福祉専門学校）

令和 5 年度、本校では 40 名の日本人入学生数を迎え、ここ 5 年において最も多い入学者数であった。全国の養成施設が減少の一途を辿る中でこのような成果を上げることができた理由について考察していきたい。

本校は、1997 年に茨城県の県庁所在地である水戸市にて創立し、今年で 27 年を迎える。水戸市内の養成施設は 2000 年代の最盛期には 10 校あった。しかし、令和 6 年度には本校 1 校となる。コロナ前に日本人学生の減少から、外国人留学生に大きく事業転換を図る養成施設が見られたが、コロナ禍による日本の強い入国規制により、思うような留学生の入国が見込めなかったこと、そしてミャンマーのクーデターをはじめとする国際情勢の急速な変化が他校の事業撤退要因であろう。つまり、流動的な外国人留学生に戦略を絞るのではなく、日本人学生に対する接点づくりも並行して取り組み続けることが養成施設の生き残り戦略だと私は考える。

では、本校においてどのような取り組みをしてきたのか、日本人学生との接点をあらたに創設する取り組みを紹介したい。本校では2019年より、介護教員が中心となり運営するNPO法人ちいきの学校を設立した。このNPOは、「地域こそが学校」をテーマに元気なシニアが地域で活動し続けられるきっかけづくりを行なっている。そもそも、学生募集の肝はやはり教育内容だと考える。2021年度から導入を求められた新カリキュラムには「地域共生社会の理解」「地域における生活支援の実際」が新たに組み込まれた。しかし、本校の教員は現場経験は豊富であるもののちいきづくりに取り組んだことはない。取り組んだことがない教員が地域共生社会を語ったとしてもそれは机上の空論となってしまう。そこで、NPO法人として、古民家を再生した地域のコミュニティづくり（ありが分校）やちいすけ（地域の助っ人の略称）と題した介護助手育成講座の運営など全18事業を通じて地域づくりに取り組んでいる。特に古民家再生では、学生と現地に行き実際にフィールドワークをしながら地域課題を抽出し、解決のアイデアを提案、実践を行っている。

これらの取り組みを広報することにより、授業が面白そうだからと入学を決める学生増加やコミュニティづくりや介護助手育成講座にて本校を知ったシニアが孫に入学を進めるなどの成果を得ることにつながっている。SNSが発達してる昨今、ガイダンス等の直接的な接点だけでなく、どこで学生に本校を知る機会となるか（タッチポイント）を広義に捉え、できる限り実行していくことが生き残り戦略として重要と言える。

## 養成施設の生き残り戦略

「教員が運営するNPO法人にて新たな接点創出」

いばらき中央福祉専門学校

伊藤浩一



茨城県人口  
約280万人

水戸市人口  
約27万人

# LANDSCAPE OF LEARNING



## 介護福祉科

2年課程・男女80名

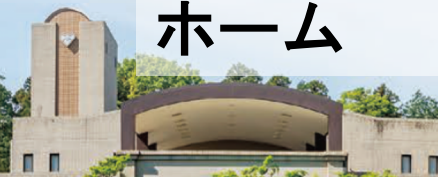
いば中は、ココが違う！

“いば中”は茨城県内で唯一、特別養護老人ホームと保育園を併設する介護福祉士養成校です。知識だけでなく、実践力を身に付けることができます。

養成校

特別養護老人  
ホーム

保育園



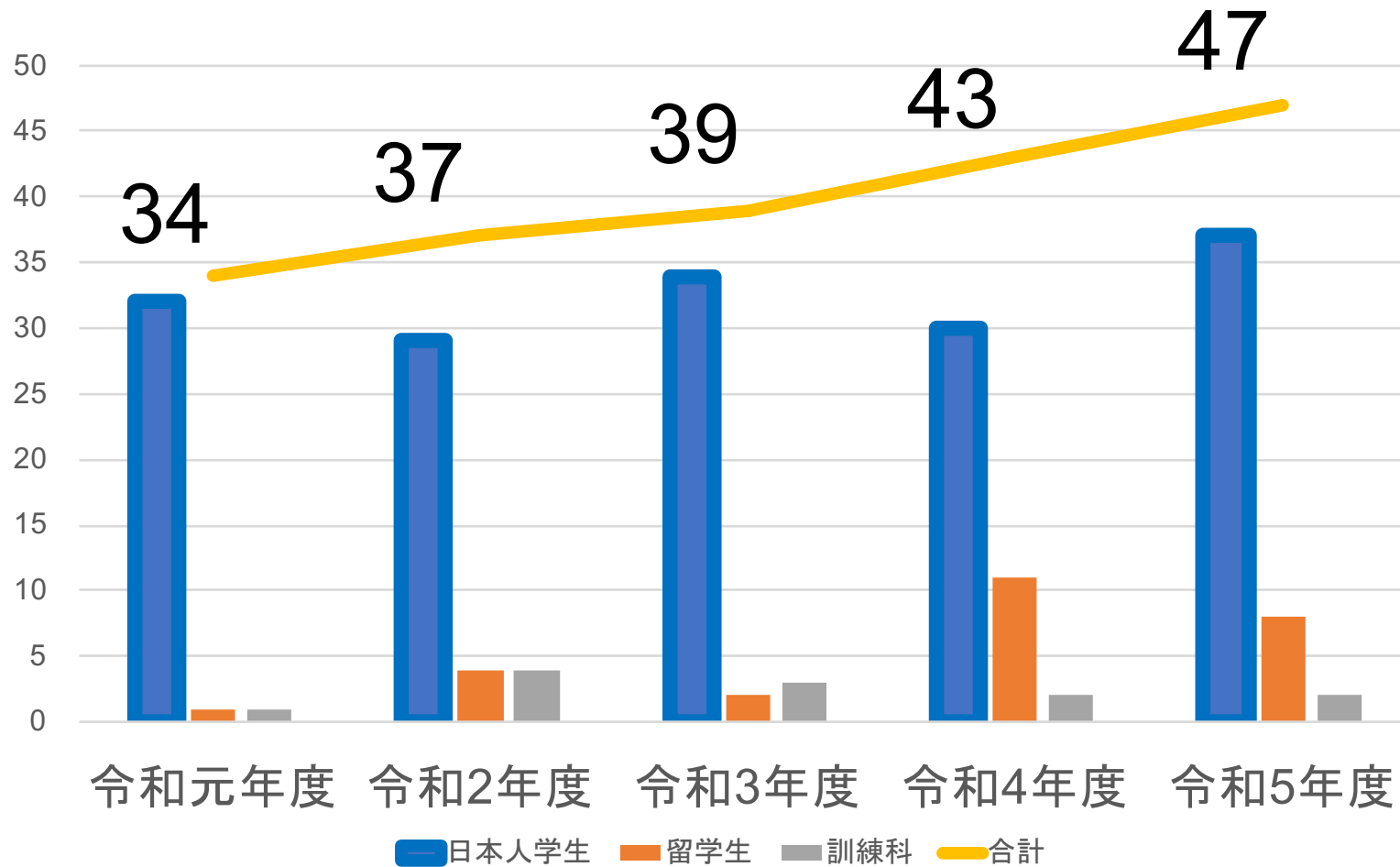
令和6年度水戸市内の養成校(日本人在校)

最盛期5校 → 1校

# WHY??

- 少子化
- 介護職の給料は安いなどの  
マイナスイメージが強い
- 先生が勧めてくれない
- 親が勧めない
- 大学進学や他産業への就労の方が魅力

# 本校の学生数の推移





# 養成校に学生が集まらない課題

そもそも学生との接点（タッチポイント）設計が弱いのでは・・・。



社会福祉法人北養会 = 社会を幸せにする団体

Purpose

# 未来のちいき福祉を担う介護福祉士を養成する

WAY

人を尊敬し、尊敬される人であること  
自ら考えを実行していくこと  
ともに助け合う仲間をつくる



アクティブ  
ラーニングによる  
双方向の学びが  
ある状態



各事業を通じ  
本業である ICCW の  
魅力を知らせ入学へ  
(声かけ・決心)



いばらき中央福祉専門学校 ICCW

介護福祉士養成校  
(教員)

特養 もみじ館



ちいきの学校  
地域貢献活動をする

## 内原キャンパス

中心となり特養・保育園と  
一体となった運営をする

専門教育・多様性教育

うちはらスワン  
保育園

Target Sub Target

元気  
シニア  
世代

シニアを元気に  
する人  
大学生等

Value  
活動意欲、  
実際の行動

Target Sub Target

高校生  
(オーキャン  
での見学時)

いばふく  
ちいきの学校で  
知り合った人等

Value  
おもしろさ、  
おもしろい場所

学生数の推移目標

留学生の内訳

	R4	R5	R6	R7
日本人	32	40	40	40
留学生	11	10	20	20

ベトナム  
ネパール  
インドネシア

いばふく  
生涯教育をする

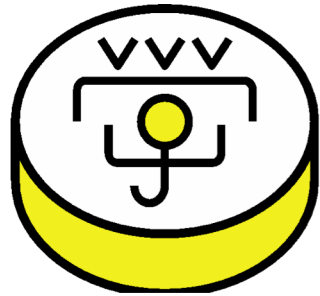
Target Sub Target

県内  
介護職  
(親や先輩)

研修の講師  
県外の養成校  
県内の先生等

Value  
学びの  
ハッピーセット





NPO法人

ちいきの学校

= 介護福祉士養成校教員が地域共生社会教育の  
実践として活動する非営利法人

「シニアが元気」は、  
いいことだ！

まだまだやれるシニア世代！

ちいきに根ざした

学び合いの場を通して、

シニア世代が益々元気で

活躍できる場づくりを。

シニア世代の元気な姿が

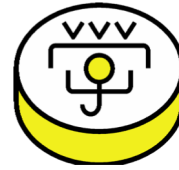
ちいきをもっと元気にする、

そんなビジョンを描きながら

わたしたちは活動しています。



# 2023 事業全体図 (全13事業)



住民主体型  
生活支援  
サポート事業



セルけあ



ドラさぼ

高齢者の就労  
支援教育事業



ちいすけ



ちいセン

学校支援ボランティア養成

コミュニティ  
作り事業



しろうと先生



ダレでもライター

生きがいづくり



ちいファン

地域のためのファンディング

興味関心につな  
がる啓蒙・啓発  
イベント事業

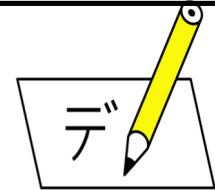


ちいすけヤング

出張福祉  
教育事業

**新)**  
認サポ

広報支援事業



デザイン室



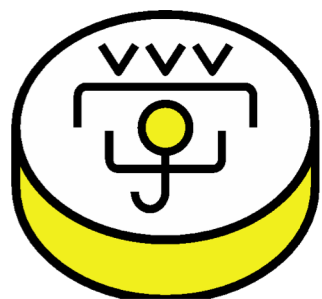
オンライン配信

配信事業のサポート



もっとアート

地域シニア・障がいの作品



NPO法人

ちいきの学校

= 介護福祉士養成校教員が地域共生社会教育の  
実践として活動する非営利法人

= 行政が担う課題解決の一步先を解決

# 令和5年度 活動報告①



ちいすけ＝地域の助っ人の略

水戸市を中心に開催していたが、  
今年度から

茨城県社会福祉協議会と共催にて

茨城県全域に展開を広げる

介護助手育成・就労マッチング事業



令和4年度  
介護労働安定センター調査報告

介護職員平均年齢

	労働者 個別人数(人)	平均年齢(歳)
全国	70,275	50.0
訪問介護員	15,626	54.7
介護職員	30,330	47.3
サービス提供責任者	1,895	50.0
生活相談員	2,712	46.2
看護職員	10,518	52.2
介護支援専門員	6,531	53.0
PT・OT・ST等	1,610	41.1
茨城県	1,006	49.9

**全国50.0歳**

(N=70,275)

**茨城県49.9歳**

(N=1,006)



# ＜茨城県・各市町村の課題＞

深刻化する介護人材不足

市町村の介護保険料の高騰

社会保障費の増大

# ちいすけ 介護助手養成講座（シニアと高齢者施設のマッチング）



水戸150名



ちいすけ  
イバラキ



ちいすけの学校

# ちいすけ 高齢者の就労支援教育事業 令和5年度 事業計画

回数	日程	開催場所
1	9月26日	水戸@市役所
2	10月11日	城里町@コミセン
3	11月16日	大洗@社協
4	11月20日	水戸@堀原
5	12月8日	大子町
6	12月15日	つくば市
7	12月21日	筑西市
8	1月18日	結城市
9	1月26日	古河市
10	2月8日	坂東市
11	2月15日	つくば市
12	2月21日	ひたちなか市

延べ300人の介護助手養成講座受講と  
30名の就労マッチングを目標とする。

# 令和5年度 活動報告②



## ちいすけヤング

介護を知る社会貢献



ちいきの学校



水戸市内高校生（水戸商業高校・水戸第三高等学校等）を対象とした「**介護助手体験**」

高校生：30名参加

協力事業所：水戸市内12事業所



ちいきの学校